

I G S NEWS 抄訳

VOL.7, NO.3 NOVEMBER 1991

前田工織 大倉史郎

ロウ会長レポート (p1~p2) ①教育委員会の活動により学生メンバーが増加している②第5回総会の準備は順調に進んでおり、第6回の企画も開始した③支部の結成もイタリア、インドネシアで動きあり④試験方法・基準が作成された⑤法人メンバーもふえており、又、準会員制度が提案されている⑥会の新しい名称が論議されている⑦今年は理事6議席の改選が行われるので奮って立候補してほしいなどが述べられている。

理事の改選について (p3) 今年は半数の6理事が改選される。投票は郵便投票により5月に実施される。今回任期満了は下記6氏であるが、定款の再選禁止規定或いはご本人の意志などで6氏全員立候補しない予定である。従って、一般会員の中から積極的な立候補が望まれている。改選理事は福岡正巳教授、Giroud博士、Rankilor博士、Myles氏、Rowe教授、Van Harten教授。

尚、詳細についてはIGS事務局Voskamp氏、Rowe会長にコンタクトすること。

IGS理事会が14理事出席のもと10月11~12日ミラノで開催された。(p3) 議事内容は前出会長報告その他で述べられている通りである。今年度の会員数は個人1038、法人39、学生72、又次回理事会は92年11月9~10日福岡で開催すること決定。

教育委員会の活動 (p4) 1991年6月の学生会員はカナダ9、アメリカ17、日本37、中国2、シンガポール4、インド6、計75名。10月にミラノで行われた会合で12名のイタリア学生が新たに会員となった。

ジオテクスタイルの試験方法・基準が出来上がり次の価格で頒布する。(p5)

テキスト	IGSメンバー	us \$ 60	メンバー以外	us \$ 90
ディスク	"	us \$ 95	"	us \$ 120

外に郵送料が必要

マーサーレクチャー (p5) NETLON社がスポンサーで2年に1回開催。

今年は、Koerner教授により下記の通り行われる。

2月27日 ニューオルリンズ (アメリカ)

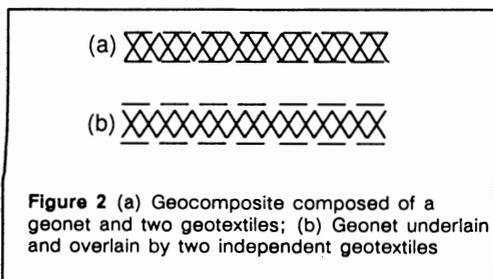
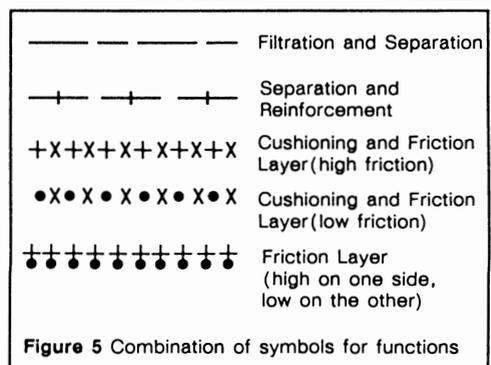
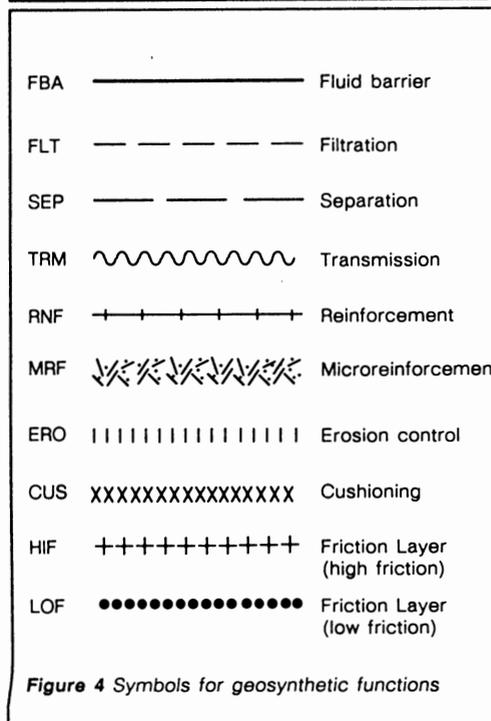
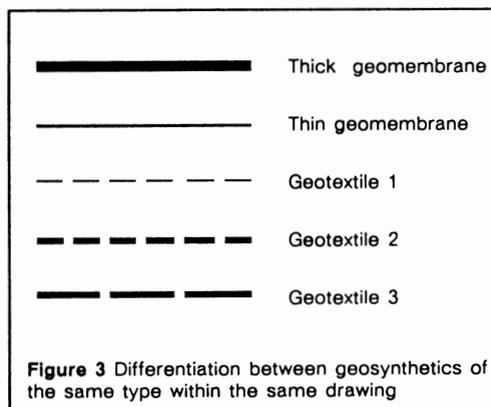
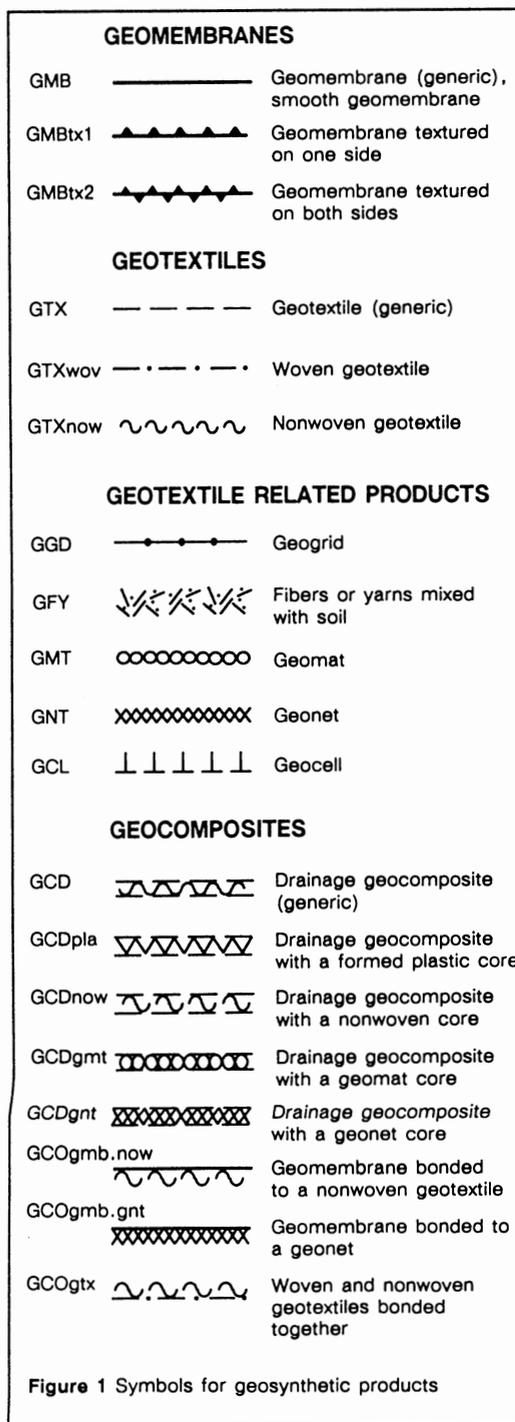
5月13日 ロンドン (イギリス)

6月2~4日 高知市 (日本) (2~4日の中1日追って決定する。)

東南アジア支部の活動 (p6) 9月27日第2回総会開催。Giroud博士、Hoedt氏が5月に来訪、第5回IGS総会のロゴが決定。9月に福岡教授が来訪、総会への日本支部の支援、協力につき討議した。他支部の協力も期待している。

シンポジウム報告 (p7) Sardinia' 91 第3回ランドフィルシンポジウム (1991年10月サルジニア島、イタリア)、及びジオシンセティック~補強土擁壁国際シンポジウム (1991年8月デンバー、アメリカ) の2件。

ジオシンセティックスの図式表示(p8~p10) 共通のものを設定しようということで具体的な案がGiroud博士から提案されている。製品を示すものと機能を示すものがあり。その案を次に示す。これについてコメントあればGiroud博士まで連絡のこと。



法人会員の会社紹介(p10~p11)は 次の3社。

- TEXSOL (フランス) 合成繊維連続糸を砂に混入して補強する。
- TENAX (イタリ-) 合成樹脂のネット、グリッドなどの成型メーカー
- GEOTECNICS (オランダ) ポリエチレン製シートパイル、筒状排水材、ジオメンブレンなどのメーカー

GEOSYNTHETICS' 93の論文募集(p11) 1993年3月30日~4月1日バンクーバーで開催される北米地区ジオシンセティック会議への論文の募集であるが、概要提出期限は92年1月15日で期限切れとなっている。

ダムの建設にジオシンセティックスの活用(p12~p13) 10月1日にサンディエゴで行われたGiroud博士の講演の概要。新設及び補修の場合を含めてジオメンブレンの利用、また濾過、排水用にジオテキスタイルの利用など。

連続糸を使用した植生工法(p13) 榑熊谷組 横塚氏によってテクソル工法を応用した植生工法の解説。この工法で日本土木学会の技術開発賞をジオテキスタイルとしては始めて受賞した。

ジオテキスタイル、ジオメンブレンに関する第2回国際セミナー(p14) 91年10月1~2日プラハで開催された。セミナーの目的は、①ジオテキスタイル、ジオメンブレン実用化技術のレビュー②製品知識の普及③チェコでの学会設立の討議であった。各講師の講義内容の概略も述べられている。

北米ジオシンセティックスケースタディ集の刊行(p15) 原稿応募に関する規程、様式など。応募の締切は92年3月31日、出版は92年終り近くなるとのこと。

Geotextiles & Geomembranes: IGS公式誌(p16) 年間6回の発行、購読料は£160/年。ただし、個人メンバーには40%引の£96。技術論文の投稿歓迎。

ジオシンセティックス応用のためのコンピュータープログラムの特集号の刊行も予定されている。(この原稿締切は1月25日であった。)

第5回イタリアジオシンセティック学会(p16~17) 1991年10月23日ポーニアにて開催。160名参加。

追加機能について(p17~18) ジオテキスタイル、ジオメンブレンが比較的薄手の材料であるのに対して“geoinclusion”と呼ばれる厚手の材料が存在する。EPSがその実例で土中に埋めることにより補強の外に濾過、排水の機能もはたす。

この件についての問い合わせは Dr. John S. Horvathへ。

(完)